

# スポーツ川越

発行 川越市体育協会



## 川越市のスポーツ

川越市教育委員会 教育長 大久原 秀雄

21世紀に向かって社会の成熟化が進み、情報を中心とした科学技術の進展は、新しい国際化への移行に向かっていきます。この社会の変化は、高齢化、都市化などの社会環境の変化を生じ、更に市民の価値観の多様化をもたらし、精神的・肉体的ストレスを生み、健康ブームを引き起こし、気軽にスポーツを楽しむ人口が急増しております。このことは、スポーツが人間の本質的な活動に依って爽快感、達成感、連帯感、体力の維持・増進をもたらす結果と考えます。

本市においても、生涯にわたりスポーツライフを形成する「生涯スポーツ」の啓発普及が教育行政の重要課題であります。

生涯スポーツ振興にあたっては、市行政の推進構想と基本計画に基づき、目的と指針を明確にし、市民のニーズに応える生涯スポーツを展開していく所存であります。具体的には「体育施設の整備」「体育関係団体の組織の充実」「指導者の養成」を目指します。

### 《体育施設の整備》

本市の体育施設は現在、川越運動公園に総合体育施設として整備を進めております。また、地域スポーツの振興、学校体育施設の開放については更に検討を加え、充実を図りたいと思っております。今後はスポーツ・レクリエーション活動を核とした、スポーツ施設の整備拡充を図りたいと思っております。

### 《体育関係団体の組織の充実》

組織の充実の為に、スポーツ団体が自分たちの活動や都合だけを考えるのではなく、相互に団体の特性を発揮しながら住民全体のスポーツ振興という共通目標を達成していく方向で、現在あるスポーツ関係団体の中で新しい組織づくりを目指す必要があると考えます。組織の充実に当たっては、体育関係団体の中心的存在である川越市体育協会組織をモデルにし、相互の関連を図りながら充実を図ることが必要です。

### 《指導者の養成》

生涯スポーツ社会に向けて、住民のスポーツニーズに応えるためには、生涯スポーツプログラムの作成と共に参加者に「楽しい」「またやってみたい」と言われるような、個人の能力と体力に応じた指導者の養成が急務と考えております。

平成16年の埼玉国体の開催に当たり、本市ではバレーボール、サッカー、野球を開催することに決定いたしました。埼玉国体を迎えるにあたり、年次計画を作成し、準備を進めてまいりたいと思っております。体育関係団体のご協力を切に願います。

川越市体育協会の「スポーツ川越」の発刊によせて、川越市スポーツ行政の課題とその指針の一端を申し述べ、重ねて皆さんのご支援をお願いいたします。



バレーボールユース女子世界選手権大会で優勝、金メダルを獲得



全日本ユース女子主将(川越商高バレーボール部) 森 みゆき

私達のチーム

は、全日本バレーボールユース女子と呼ばれ、17才までの年令

で、日本各地からピックアップされた35名位の中から、ふるいにか

けられ、12名に絞られたメンバーでした。8月に行われたインターハイが

チームを作り直しました。私は全日本ユースのキャプテンに指名され、

皆をまとめる事に神経を集中させました。8月14日、実業団チーム

の胸を借りて大会に備えました。NECから日立へと移り、調子も

上がり、8月23日イタリアへ出発しました。シシリー島のラグーザという町で、四ヶ国対抗が行われ

パリから南西へ150km程行った、オルレアンという町に着きました。この町は、ジャンヌ・ダルクの出た町として有名です。ここでいよいよ12ヶ国が集まり、世界選手権大会が始まりました。A・Bグループに分け、私達日本チームは、Aグループで、初日はキューバと対戦しました。キューバとはイタリアでも勝っていらしたので勝ち抜き、次のウクライナも勝ったのですが、ロシアには負けて、決勝進出へ後が無くなったのですが、中国に完勝し、ラトビアにも勝つてようやく決勝ラウンドに進出しました。Aグループの一位ロシアとBグループ二位のブラジル、Bグループ二位のイタリアとAグループ二位の日本で対戦、日本はイタリアに劇的なフルセットで倒し、ロシアもブラジルに勝って、決勝戦は日本対ロシアの組合せになりました。予選リーグでは負け

たロシアでしたが、決勝戦は日本から駆けつけた応援団や、オルレアンの町の人の日本びいきの応援に後押しされ、スタートから調子良く、一、二セットを連取、三セット目は取られましたが四セットはいよいよ調子の波に乗り、遂に15-11で勝ちメインポールに日の丸の旗を上げ、金メダルを胸にかけ



川越商高バレーボール部の紹介と、選手養成

川越商高バレーボール部は、インターハイや春高バレー、国民体育大会へ合計42回の全国出場を果たしている。団体の全国優勝、インターハイの準優勝、春高バレー三位と全国に名を轟かせたのも川越市立という市民の愛着心、絶大な声援と市長、教育長を初め多くの皆様に支えられて伝統を築く事ができました。先般行われた県新人バレーボール大会は新設となった、川越運動公園総合体育館で行われました。決勝戦は春日部共栄高をフルセットの末、撃破する事ができました。当日の激戦の様子はテレビで放映された為、多くの激励・お祝いのメッセージを頂きました。ありがとうございます。選手は伝統とい



う二文字をしっかり受け止め優勝できた事に感激しております。そしてますます強さ、思いやり、やさしさを深め、「全員バレー」と「完全燃焼」を合い言葉にプレーと人間性を磨き、50名近い部員が、一糸乱れる事なく、明るく、潑刺と、精一杯、青春を謳歌するところに、川商バレーの原点があります。



入ることができ、満足とはいかないまでも得たものはとても大きいものでした。10月に福島県で行われた第51回国民体育大会では、埼玉県選抜として全国各県の選抜と戦い抜き、7位という素晴らしい成績を残すことができました。これらは熱心に指導していただいた先生方や支えてくれた父母や友達の影響があったからです。これからもこの3年間で学んだことを土台として頑張っていきたいです。

川越女子高等学校弓道部紹介

弓道部顧問 島村 保男 部員は一年と二年を合わせて三二名。川女弓道部の特徴は基本練習の一つである「巻蕪練習」に時間をかけるというところにあります。巻蕪に向けて丁寧な弓を引くことを心掛

になりまし。予選リーグでは負けたロシアでしたが、決勝戦は日本から駆けつけた応援団や、オルレアンの町の人の日本びいきの応援に後押しされ、スタートから調子良く、一、二セットを連取、三セット目は取られましたが四セットはいよいよ調子の波に乗り、遂に15-11で勝ちメインポールに日の丸の旗を上げ、金メダルを胸にかけ

さしさを深め、「全員バレー」と「完全燃焼」を合い言葉にプレーと人間性を磨き、50名近い部員が、一糸乱れる事なく、明るく、潑刺と、精一杯、青春を謳歌するところに、川商バレーの原点があります。

ある「巻蕪練習」に時間をかけるというところにあります。巻蕪に向けて丁寧な弓を引くことを心掛けて、一本また一本と矢数を重ねていきます。的に向けて矢を放つまでに千本から二千本。日数に直すと、早い生徒二ヶ月、遅い生徒になると五ヶ月にもなります。高校時代の練習は実質二年間しかありませんが、あせらず、じっくり型をつくりたいという基本方針でやり続けています。

世界・全国の舞台で

やり続けています。

弓を通して次第にその人の個性  
というか、性格が表れてきます。  
部員みんなが射技の上達を強く望  
んでおり、個を大切にした指導は  
いかにあるべきか、悩みながらの  
指導を続けているのが現状ですが、  
その上達過程において、彼女たち  
は私の想像もできないドラマを毎  
年展開しています。川越女子高校  
で弓道を学んで本当によかった。  
そして今後も弓道を続けたいと  
思ってくる部員が一人でも多く  
出てくれたらと願っています。

### 全国高校総体に出場して



川越女子高校 千野いず美  
私達の学校は

二年連続イン  
ターハイに出場  
することができ  
ました。昨年は  
惜しくもベスト8で敗れてしま  
いましたが、今年はその時の悔し  
さを忘れることなく部員一同精一杯  
努力をし、本戦では団体三位とい  
う成績を残すことができました。  
昨年は初出場ということもあり弓  
をひくことだけで精一杯でしたが、  
今年は昨年に比べ選手一人一人が  
自信を持ち堂々と試合に臨めたの  
ではないかと思えます。

大会当日までの厳しくてつらい  
稽古そして試合、各自が得たもの

# 活躍する選手達!!

はさまざまだと思います。何を学  
び、身につけることができたのか  
が非常に重要なのです。私が一番  
感じたことは、何事も最後まであ  
きらめず自信を持ち頑張り抜くこ  
との大切さです。とにかくねばり  
通すということです。

この全国大会という素晴らしい  
大会を通し、得ることのできた  
数々の経験をこれからの生活に充  
分活かし、日々の努力を忘れずに  
何事にも意欲的、主体的に取り組  
んでいきたいと考えています。

### 国体優勝・埼玉県スポーツ文化 賞を受賞して

星野女子高等学校 三年  
ソフトボール部 武田はつみ



全国優勝とい  
うのは、私に  
とって三年間の  
目標であり夢で  
もありました。

それを最後の大会である国民体育  
大会で果たすことができ、大変良  
かったと思っています。

私は三年前ソフトボールと勉強  
を両立させて頑張ろうと思い、自  
宅は神奈川県にあるのですが、埼

玉県にある星野女子高校入学を決  
心しました。そして親元を離れ学  
校内にある生徒会館で生活してい  
ました。初めは、多少の不安は  
あったものの新しい生活に大きな  
希望でいっぱいでした。しかし、  
実際は思うようにはいかず、試合  
に出場しても結果を出せないこと  
が多く、全国制覇などとても手に  
届かない所であった時期もありま  
した。諦めてしまいうようになった  
時や落ち込んだ時に、先生やチー  
ムメイト、両親に励まされ、やっ  
と最後の国体優勝に漕着くことが  
できたのだと思います。

夏のインターハイは準優勝に終  
わり悔し涙をのみ、目標を果たす  
ことができなかった私達の最後の  
チャンスが国体でした。皆、イン  
ターハイの雪辱に燃え、忙しい時  
期でしたが毎日練習に参加して頑  
張りました。そしていよいよ十月  
の国体本番。相手は強豪ばかりで  
した。しかし、私達のチームは苦  
戦しながらも、持ち前の明るさと  
粘り強さで勝ち進み優勝すること  
ができました。念願の全国優勝を  
決めた瞬間は最高の気分でした。  
本当にソフトボールを続けてきて

良かったと思いました。

そして私は、国体での活躍から  
埼玉県スポーツ文化賞を頂くこと  
ができました。ソフトボールは  
チームスポーツであるし、国体で  
優勝できたのもチームの皆あって  
のことなので、この賞は私が皆の  
代表で貰ったものだと思い頂きま  
した。このような素晴らしい賞を  
頂いたのですから、これからそれ  
に恥ずかしくないように生きてい  
こうと思っています。

私の高校生活を思い返してみ  
るとソフトボールにも勉強にも本当  
に充実していたと思います。これ  
もたっくんの方に応援して頂いて  
のことだと思っています。お世話  
になった先生方をはじめ多くの方  
に感謝したいと思います。これか  
ら高校生活で得たものを生かし新  
しい道で頑張っていこうと思いま  
す。



星野女子高校ソフトボール部  
星野女子高校ソフトボール部  
監督 渡辺 努  
星野女子高校

は伝統ある真面  
目な校風を基調  
とし、文武両道  
を目標とした学

校です。そしてソフトボール部は  
第二校舎のグラウンドに於いて、素  
晴らしい施設、環境の下、日々練  
習に励んでいます。平成7年度は  
東日本大会、関東大会、国民体育  
大会で優勝、インターハイでは準  
優勝という満足出来る成績が収め  
られました。

私が練習の中で意識しているこ  
とは「つながり」と「バランス」  
です。打線のつながり、守備や声  
の連係、精神的なつながり、そし  
てチームとしてのバランスと人間  
としてのバランスです。部員は現  
在32名いますが全員が選手になれ  
るわけではありません。チームの  
一人一人が自分の置かれた立場に  
おいて、自分の役割をしっかり果た  
せる様に指導しているつもりです。  
本校はほとんどの生徒が進学希望  
ですので、全国の強豪校の中では  
練習時間は少ない方です。しかし、  
目的意識を持ったひたむきな生徒  
達とともに全国の頂点を目指し、  
頑張っていきたいと思えます。





第48回 市民体育祭参加者

	参 加 者					合 計
	少年少女	青 年	婦 人	社 団	その他	
野 球	0	470	—	—	0	470
卓 球	0	50	60	150	17	277
ソフトテニス	60	24	110	34	0	228
バレーボール	120	320	600	0	0	1,040
バスケットボール	405	600	30	0	0	1,035
サッカー	1,404	700	32	70	0	2,206
柔 道	293	45	26	24	0	388
剣 道	188	9	5	14	0	216
弓 道	30	23	38	45	30	166
空 手 道	58	50	2	9	0	119
陸上競技	580	35	0	5	0	620
水泳競技	1,245	100	60	75	7	1,487
ス キ ー	41	77	29	65	9	221
ク レ ー	0	0	0	35	10	45
ライフル	0	2	2	27	0	31
スケート	35	4	0	1	0	40
体 操	160	0	0	0	0	160
小 体 連	2,018	0	0	0	0	2,018
中 体 連	6,373	0	0	0	0	6,373
高 体 連	2,350	0	0	0	0	2,350
レクリエーション	14	5	443	105	72	639
バドミントン	0	58	82	68	22	230
少林寺拳法	130	16	2	12	0	160
ソフトボール	0	0	340	2,933	153	3,426
テ ニ ス	50	350	250	300	43	993
ボウリング	0	15	34	19	4	72
なぎなた	8	0	50	6	0	64
合 計	15,562	2,753	2,195	4,197	369	25,074

付記 少年少女=小・中・高校生  
 青年=30歳未満  
 婦人=  
 壮年=30歳以上60歳  
 その他=61歳以上

第48回

川越市民体育祭

平成七年度 第四十八回市民体育祭は、八月六日の陸上競技を皮切りに、三月九日のスケートを最後に全二十七種目が無事終了しました。

本年度は、九月十五日にスポーツ少年団の体育祭と併せて、川越運動公園総合体育館において「総合開会式」が開かれました。

入場行進に続いて開会式が開かれ、舟橋市長の挨拶の後、福田市議会議長より祝辞をいただきました。デモンストレーション種目として、団体対抗の綱引きを実施しました。平成八年度は、各団体の特長を生かしたりレールを実施する予定です。



本年度市民体育祭参加者数は、二五、〇七四名で、昨年度合計二一、四九六名に比べると、三、五七八名増加しています。これは、小学生・中学生・高校生の参加が昨年度より増加したためと思われる。

また、種目別に見ますと、バレーボール・テニス・ソフトテニス・バドミントン等が増加しています。水泳競技では、合わせて十五の大会新記録が生まれており、今後の発展が期待されます。町内体育祭については、九月から十一月の日曜日を中心に実施されました。

実施自治会 一七七自治会  
 会場数 三二会場  
 全参加者数 四三、七九二名  
 本年度市民体育祭に参加された方は延べ六八、八六六名おり、川越市民の五人に一人が参加していることとなります。

今後とも、生涯スポーツの振興を図る中で、健康で明るく豊かな市民生活を築くため、市民のスポーツの祭典として定着させることに努めたいと思います。

川越市スポーツ少年団 二十周年

川越市スポーツ少年団は、平成七年度創立二十周年を迎えました。日本スポーツ少年団が、昭和三十九年の東京オリンピックを契機に設立され、本市でも市体育協会の働きかけにより、昭和五十五年五月に傘下の一専門委員会として位置付け、結成、発足となりました。結成当時は、団員数八百二十七名の小規模団体でありましたが、現在、二千四百九十一名の団員を有し、県内でも有数の少年団に成長しております。

少年団活動は、単位団ごとの活動の他に本部事業として、団員・指導者が一堂に会し、種目を越えた交流を深めることを目的とし、「体力テスト会」「体育祭」「新春マラソン大会」を開催し、「心身共に健全な青少年の育成」に努めています。

また、指導者の資質向上を図るため、認定員養成講習会、研修会等を開催し、更に県本部主催の指導者研修会にも多数の指導者を派遣しております。

本年度は、発足二十年を記念し、去る三月十六日に『川越市スポーツ少年団二十周年記念式典』を開催し、式典は本市少年団活動に特に功績のあった方々に対し表彰を行い、つづいて記念講演として、筑波大学教授萩原武久先生を招聘し、「生涯スポーツにおけるス

スポーツ少年団活動」と題して講演をいただきました。

講演の主流は、スポーツ少年団に入って来る子供たちは「スポーツが好き」「スポーツがやりたい」「子供たちです。この原点を押さえた活動であってほしい。指導者はスポーツ活動を通して、他の学問では経験できない、味わえない『感動の場』を与え、生涯にわたるスポーツを愛し、親しむ青少年の育成に力を貸してほしい」と示唆に富んだ話をいただきました。

特に指導者として銘記すべきことは、スポーツの語源を調べてみると、スポーツは子供にとって勝敗以前に楽しむ、気分転換を図る意図があるということです。ところが近代スポーツは結果・記録・勝敗にこだわり、ここに価値観をおき、本来のスポーツの持つ意味が忘れられ、この考え方(価値観)が、大人の世界から子供の世界に下りてきているところに問題がある。スポーツには至適年齢があることに留意し、子供の体力・運動時間・方法を考えて指導すべきであり、いやしくもスポーツ傷害を起すような指導は避けるべきである。という話は、深く心に感銘を受けました。

私たちは二十年を機に、団員にスポーツの楽しさを学ばせ、意欲的活動を通し、自分の宝を生み出す少年団活動の範を示し、指導者として学び続けたいものです。

# 栄光をたたえて

体育功労賞 五名  
優秀選手賞 二五三名

平成七年度体育関係者の表彰式が、二月一七日午後二時からスポーツ講演会に先立ち、市議会議長さんをはじめ関係団体から多数の来賓の方々にご臨席を賜り盛大に開催されました。

表彰は、舟橋川越市長より、本市スポーツの振興に長年にわたり貢献され、その功績が特に顕著な

方に「体育功労賞」が贈られ、つづいて、教育長・体育協会長より郷土を代表し、全国各地で開催された全国大会等で活躍され、好成績をおさめられた選手に「優秀選手賞」が授与されました。

## ＜体育功労賞＞

名誉ある体育功労賞の顕彰者を紹介いたします。

### ★ 卓球連盟

本多 はな子氏  
卓球連盟の婦人部役員として家庭婦人部の充実発展に貢献。

### ★ ライフル射撃協会

仲 利 夫氏  
副会長として、会の発展と射撃技術の向上に貢献。

### ★ スケート連盟

三上 幸 夫氏  
連盟組織の確立と市民スケートの普及に貢献。

### ★ 体操連盟

浅野 敏氏  
指導員としてスポーツ少年団活動に貢献

### ★ レクリエーション協会

綾部 勝 美氏  
FD指導者としてフォークダンス普及に貢献。



### ＜優秀選手賞＞ 二五三名

平成七年度、市内在住・在勤・在学のスポート選手で、郷土川越の名誉を担い代表として活躍した選手は、二五三名と多く全員を紹介出来ませんので、競技別優秀選手賞受賞者人数を報告いたします。

競技名	人数
野球	二五名
卓球	九名
ソフトテニス	四六名

競技名	人数
バレーボール	一五名
柔道	六名
剣道	六名
弓道	一八名
空手道	六名
陸上	二一名
水泳	一九名
スケート	八名
新体操	二名
レク・バウンドテニス	二名
ボウリング	八名
少林拳法	三八名
ソフトボール	一七名
なぎなた	一名
自転車	六名

## ＜県体育賞顕彰者＞

本市の優秀選手で国際大会・全国大会で入賞し、更に県で受賞した選手を紹介いたします。

### ★ 知事特別賞

バレーボール  
川越商業高校三年 森 みゆき  
優秀選手賞

### ★ 優勝 世界バレーボール

ユース女子選手権大会  
川越商業高校 森 みゆき  
準優勝 ソフトボール

### ★ 全国高校総体 星野女子高校

寺尾中学校 前田 葵  
三位 水泳 全国中学校大会  
三位 弓道部(団体)  
全国高校総体 川越女子高

## 平成十六年埼玉国体

### 競技種目の決定

平成十六年に開催される、第五十九回国民体育大会、埼玉国体の競技種目が平成七年十一月二日に準備委員会常任委員会において選定され、公表されました。

川越市に決定しました競技種目は、少年女子バレーボール、成年男子のサッカー、それに高等学校の軟式野球です。

少年女子バレーボールとは、高校女子バレーボールのことです。これは、川越市で開始式を行うことになっていきます。

会場は、川越運動公園総合体育館が会場となりました。

次にサッカーですが、これは、会場が川越市、大宮市、越谷市の三会場で開催されます。川越市では、川越運動公園陸上競技場が会場となります。

軟式野球につきましては、参加が十チームの予定ですので、川越市で開始式を行うことになっていきます。

国体開催に向けましては体育協会をはじめ組織をあげての協力が必要ですが、県及び競技団体並びに市関係各部と協議して、環境整備や、国体開催を目指して生涯スポーツに対する市民意識をさらに高めていきたいと思っております。

## 全天候型テニスコートがオープン

下老袋の川越運動公園内に、夜間照明施設や観客席をもつ、本格的なテニスコートが完成しました。

このテニスコートの特長は、全天候型壁打コートが2面あり、一人でも練習できることにあります。舟橋市長は「子供から高齢者まで一人で気軽に利用できる生涯スポーツ施設に」と話しています。

『初打式』は、三月二十四日、舟橋市長、関口体協会長等関係者によるテープカットに引き続き、大会・練習が行われ、心地よい汗を流し式典を終わりました。

## 使用料金表 (1面あたり)

区分	時間単位	市内居住者			市外居住者
		一般	児童・生徒		
施設等					
テニスコート	2 時間	400円	200円	600円	
夜間照明	1 時間	200円	100円	400円	
壁打コート	1 時間	100円	50円	200円	

※児童・生徒とは、小学生・中学生・高校生をいいます。

問合せ：川越運動公園総合体育館  
☎ 241-8765  
ご利用ください。



# 演題 私とテニス

## 講演内容要旨

今回で一七回目を迎えたスポーツ講演会は去る二月一七日午後三時から、市内スポーツ関係者並びに一般市民の方々など四五〇名余の参加を得て、やまぶき会館で盛大に開催されました。

講師に、日本テニス協会副理事長・鹿屋体育大学教授・神和住純先生を招聘し、二三年にわたるテニス競技生活について語って戴きました。

講演は先生の珍しい「神和住」という姓の由来に始まり、各年代を追って競技生活を振り返り、エピソードを交え、笑いにまぎれながら、多くの示唆に富んだお話をいただきました。

〈講師プロフィール〉  
・昭和二年、石川県生まれ  
・中学一年、軟式テニスを始める  
・高校三年、インターハイ優勝  
・法政大学在学中、インターレ三年連続チャンピオン

・全日本、単・複 三連覇  
・二六歳、日本人初のトーナメントプロに転向

(1) 神和住の由来  
石川県「神和住村」の地名を貰う。神が平和に住む所のお意。

(2) 硬式テニスに転向  
「高校でチャンピオンになるとアメリカに行ける」という夢の実現に向け転向決意する。

(3) 優れた指導者に出会う  
軟式との技能の違いを指摘され、朝練でバックハンドのみの練習を積み、これが後に私の武器に。

硬式の初日より、先生はノートに日々の相手の特長や夢でも何でもいから書き続けなさい、これが私の競技生活の宝になりました。

第17回 スポーツ講演会  
講師 鹿屋体育大学教授  
日本テニス協会副理事長  
神和住 純 先生

主催 川越市教育委員会  
川越市体育協会  
川越市施設管理公社

ペシャリストになり、そして若い時から体を鍛え優雅な活力ある人生を送って下さいと話を結ばれました。

## 学ぶスポーツ指導者

川越市教育委員会・川越市体育協会の共催による第三回スポーツ指導者養成講習会は、9月18日・26日・10月2・9日の四日間にわたり北公民館・市民体育館を会場にして開催されました。

本年は昨年の反省並びに受講者の希望を参考に研修テーマを『指導技術の向上を目指して』として左記の計画で体育協会指導委員会が主管となり実施しました。

―講習会計画―  
第一日目「スポーツ医学総論」

9月18日 北公民館  
講師 川越市医師会・スポーツドクター 瀬戸幹人先生

内容「医学的にとらえたスポーツの意義はなにかを、内科的見知からとらえた講義」

第二日目「スポーツ傷害とテーピング」 9月26日 市民体育館  
講師 ソニー企業 大坂恒治先生

内容「スポーツ選手の事故が多く発生する関節や筋肉・靱帯を中心に予防・保護のためのテーピング(膝)実技」

第三日目「青少年期の発育発達とその指導法」10月2日 北公民館  
講師 国際バレーボールコーチ 伊藤博義先生

内容「青年期の指導で過熱指導が指摘されている問題を専門的な立場からの実践例をおしでの指導

法」  
第四日目「技能向上のためのプランニング」 10月9日 北公民館  
講師 国際バレーボールコーチ 伊藤博義先生

内容「川越商業高校バレーボール部全国大会十四年連続出場監督としての選手養成計画(長期・短期)についての指導法」「指導者心得について」

講演会には、体育協会指導者と市委嘱の体育指導委員の希望者84名が夜の講義にも関わらず、昼の仕事の疲れを忘れ、熱心に受講されました。

指導委員会では魅力あるよりよい講習会にするため、アンケート調査をいたしました。その結果

回答者数 52名  
社会体育概論19% スポーツ心理40%  
スポーツ経営12% スポーツ生理90%  
スポーツ医学60% スポーツ行政25%  
スポーツ指導論33%

と調査結果が出ました。  
スポーツ生理学・医学・心理学を希望する方が過半数以上と多く、このことは指導者として、心身両面から適切な指導を施したい願いが読み取れます。従って次回(第4回)は心身の理解・身体保護を中心に、専門的な立場の講師を招いて、講座を計画し、指導者の資質の向上を目指したいと思います。

皆様の参加をお待ちしております。



# 二、二六四人 爽やかな文化の日 第14回川越ウォークソン大会

十一月三日、秋晴れの澄んだ空

気、秩父連山を遠望しながら、田園コースを歩く、「第十四回川越ウォークソン大会」（川越市・同市教委・日本ウォークソン連盟・毎日新聞社主催）は川越運動公園陸上競技場に、県内外二千二百六十四人の参加者を集め盛大に開催されました。

開会式では『正しく・速く・美しく・楽しく』と坂本夫妻により宣誓が行われ、競技は午前九時に花火が打ち上げられ、舟橋市長のピストルの合図により、速さを競う男子20KM・女子10KMの競技種目に始まりました。続いて誰でも歩ける『美しく・楽しく』のレクリエーション種目と続き、伊佐沼周辺の田園コースへと向い文化の日を楽しんでおりました。

**競技種目Vは男子小金山さん  
女子は長手さん**

## 競技結果

競技20KM男子  
1位 小金山光雄 1時間56分51秒  
2位 浦部兼男 3位長谷川幸雄

- |                          |  |               |                            |  |   |   |                 |   |
|--------------------------|--|---------------|----------------------------|--|---|---|-----------------|---|
| 4位 沢田博美                  | 5位山下棟一郎                                    | 6位 横山武彦       | 7位 北村富弘                    | 8位 沼崎英夫  | 9位 辻川 誠   | 10位 村林好男  | 競技10KM女子        |   |
| 1位 長手雅子                  | 1時間03分59秒                                  | 2位正野すみ江       | 3位 新井茂美                    | 4位 栗原 薫  | 5位 上原綾子   | 6位梶田喜美子   | 7位 山口乃子         |   |
| 8位国府田和恵                  | 9位 三角幸子                                    | 10位 小高正子      | 『正しく美しく楽しく』歩いた<br>スタイル賞受賞者 | (一般男10KM) 染谷・武田・川村   | ・小川・北村・後藤・細野・鎌田   | ・金子・佐藤(一般女10KM) 池田  | ・高橋・小松・前田・佐藤・大浜 |   |
| ・八柳・関根・細田・矢幅(一般男5KM59以下) | 田島・田部井・小俣・荻野・加藤・高柳・大門・半谷・吉嶺・関根(一般女5KM59以下) | 岡田・林・伊東・広松・坂代 | ・中野・江原・松本・石元・高橋            | (一般男5KM60才以上) 栗原・羽野・山下・木村・鈴木(一般女5KM60才以上) 河野・宮下・松浦・海老沢・阿部・中島・矢作・金井 | ・阿部・羽鳥(中学男子) 山岸・宮田・吉田・小室・浅利・石川・神野(中学女子) 田辺・中山・篠原・矢作・伊藤・柴田・中西・熊本・内園(小学男子) 金子・寺尾・長谷川・鈴木・山田・鈴木・長 | ・白根・小野沢・伊藤(小学女子) 田中・浅川・増田・松本・深瀬・田中・館沢・村田・小笠原・落合(親子)・大川組・大貫組・高橋組・坂口組・木下組・河野組・酒巻組・根本組・吉田組・矢島組 | シルバーク(80才以上)    | 大久保ルイ・石川ミネ・戸田やま・杉田作三・佐藤十五郎・吉野広佑・宮崎義信・室岡 勝 |

## 最高齢者も堂々ゴール

今大会の最高齢参加者、大久保ルイさん(85)は、5KMコースをしっかりとした足取りで、一時間十一分十七秒で堂々のゴール。

ゴール後大久保さんは「今日は調子はまあまあ」「毎朝一時間かけて5KM歩くのが目標」「医者にかかったことがない、体はいたって丈夫」と胸をはって語りました。

## 大成功だった

### 埼玉県レクリエーション大会

平成七年度「埼玉県レクリエーション大会川越大会」は、川越市レクリエーション協会主管。川越市体育協会の全面的バックアップ。そして川越市教育委員会の協力のもと平成七年十一月二十六日、新装となった川越運動公園を主会場として市内八会場で開催されました。

午前中の開会式には、加盟レクリエーション協会、加盟種目団体等から約三千名が出席。県関係来賓。川越市長・議長、体協会長等豪華な顔ぶれの方々から、お祝いの言葉を頂きながら大会は進められました。

レクリエーション功労者・優良団体の表彰、感謝状の贈呈などの



あと行われたアトラクション「石原町のささら獅子舞」は参加者から大きな拍手が送られました。大会のしめくくりは次期開催地への大会旗の引継ぎ。大久原教育長より県レク協会長へ、そして、次期開催地の浦和市教育長へと引き継がれ開会式は終了致しました。午後は八会場へ分散しての実践活動の発表。

秋晴れの日、約三千名の参加者が十三種目に分散、日頃の活動の成果を披露。また、参加者同志の交流を深め、初期の目的を達成して閉会致しました。参加者からは「今までで一番すばらしい大会だった」という賞讃の声があげりましたが、これは、大会当日までの準備の周到の成果だったといえるでしょう。関係者に拍手。



# 団 体

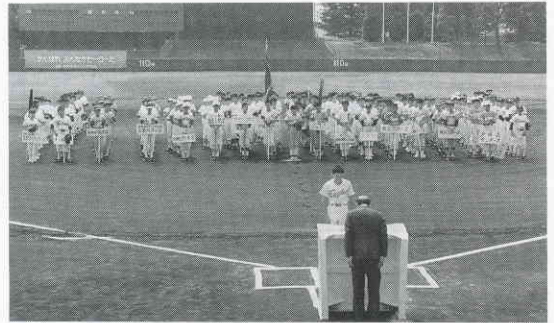
## だより

### 躍進する野球連盟

明日にむかって、躍進する川越市野球連盟を紙面を借りて紹介させていただきます。

当連盟は平成十年度に創立五十年をむかえます。その間諸先輩の御指導御協力に深く感謝する次第でございます。

さて連盟の現状ですが、登録チーム数も県内でもトップの一三〇チームで、主管大会のチームを含めると一六〇という大世帯で、年間試合数も三八〇〇四〇〇というハードなものです。当支部には県A級のバイオニア川越を筆頭に、市のA級として川越市役所・日清紡川越・隼クラブ・武州ガス等四チームをかかえています。中でもバイオニアは全国的にその名を知られています。それ以外のチームでは、平成七年度に金沢市で行なわれた全国大会に出場、一回戦を新潟代表に敗れましたが、他チームにもやれば出来るという刺激を与えたものと思います。現在当連盟は埼玉県でも中心的存在で、主要県大会を主管しています。写真



は第十四回の県学童大会の入場式風景です。この様に県西部地区の主役として、役員一同今後とも精一杯努力する所存でございます。関係各位の尚一層の御協力、御指導をお願いいたします。

### 川越市卓球連盟

川越市卓球連盟は、昭和二十一年、戦後いち早く発足し、多くの先輩のご尽力によって、現在まで五十年余にわたり、隆々と栄えてまいりました。

初代会長山口義雄氏、二代会長水村三郎氏、三代会長印藤勇夫氏と、数少ない会長で維持できたこととは、会長の手腕と、会員の結束力の賜と思えます。

ところが、四十年近く本連盟をリードしてきた印藤会長が、昭和六十三年に倒れ、家族の手厚い看護も空しく、平成四年遂に不帰の客となってしまいました。

やむなく、不肖私が会長を引き継いだのですが、これを契機に役員皆さんの積極性が増し、もっと行事を増やして、卓球の普及と技術の向上を図ろうとの提案が相つぎました。

先ず、前会長の偉大な足跡を偲んで、印藤杯争奪大会を、継いで市長杯争奪、オープン卓球大会等を開催して、卓球愛好家に大変喜ばれるようになりました。

その為か、会員も急増、戦力もアップし、本年は全日本軟式卓球大会へ七名、全国ラジボール大会へ二名の代表選手を輩出し、過日優秀選手として表彰されました。(会長 関根一夫記)



# 川越市体育協会

### 体育協会組織

川越市体育協会は、スポーツ団体(23)、学校体育団体(3)、社会教育関係団体(1)の二十七団体で活動しております。

この活動に対して、個人会員として、本協会の趣旨に賛同いただいた一般市民の皆様は、賛助会員として、体育協会の運営全般にあり側面よりご支援いただいております。

なお、本年度、賛助会員として二百四名の皆様にご賛同いただいております。

### 体育協会五十年に向けて

川越市体育協会は、昭和二十三年に十二団体で発足しました。現在は、二十七団体で平成九年に五十周年を迎えます。本協会では五十周年を記念し、様々な事業の計画推進を図るため、実行委員会を組織し、よりよい体育協会を目指していきたいと思えます。

皆様のご協力を直しくお願い申し上げます。

### 表紙写真説明

川越運動公園テニスコート竣工後の大会で新コートの感触を親しむ参加者たち

### ★川越運動公園テニスコート★

- 全天候型コート 12面
- (夜間照明付) 6面
- 壁打ち練習コート 2面
- 観覧席 1300人収容可
- 利用時間 午前9時～午後9時
- 利用申込 使用する前月の1日から受付ます

### 編集後記

10年前のスポーツ川越を読み返しますと総合体育館建設要望の記事が目につきます。当時の建設要望への熱意がひしひしと伝わってきます。念願の総合体育館がオープンし4月からテニスコートもオープンします。これからも紙面を利用して要望・陳情などを取り上げていきたいと思えます。

終わりに、お忙しい中にもかかわらず、快く寄稿くださいました各位に厚くお礼申し上げます。

広報委員会

